

平成 28 (2016) 年度

産業技術大学院大学 産業技術研究科

『enPiT—分野・地域を越えた

実践的情報教育協働ネットワーク—』

プログラム

受講者募集要項

enPiT BizApp

公立大学法人 首都大学東京

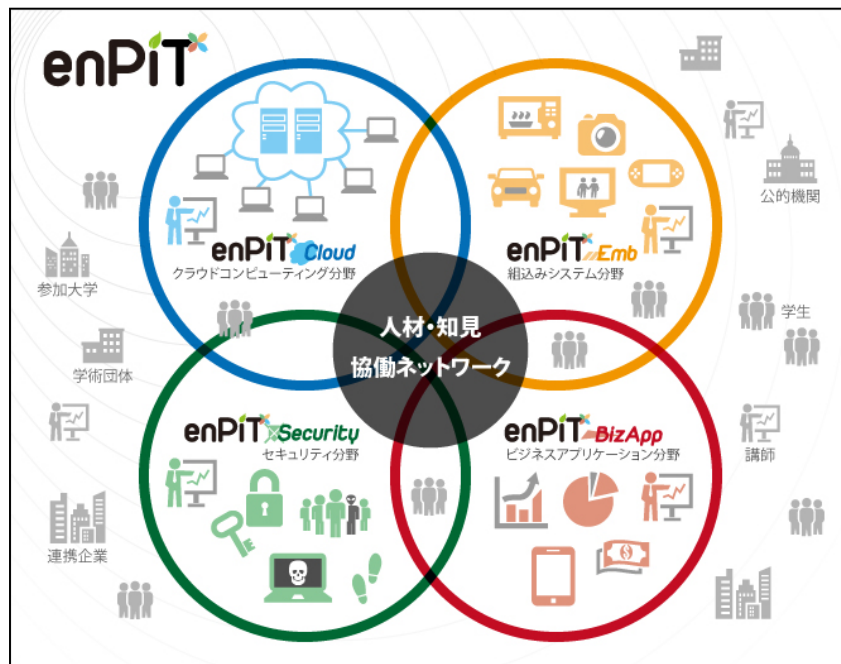
## 1 『enPiTー分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク』プログラムについて

enPiT は日本国内の 15 大学が連携して実践的な人材育成を推進する教育ネットワークです。情報技術の中から、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの 4 分野に焦点を絞り、複数の大学が連携して教育を行います。

産業技術大学院大学は、筑波大学、はこだて未来大学とともに、ビジネスアプリケーション分野を担当します。ビジネスアプリケーション分野では、進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材の育成を目指します。

enPiT のプログラムは大学院修士（博士前期）課程 1 年生を対象にしていますが、それ以外の学年の学生や社会人も履修することが可能です。

カリキュラムは、1 週間の短期集中講義と、集中講義後に分散して実施するプロジェクト型学習（PBL）が中心で、これらをより効果的なものとするために、選択科目として基礎知識を学ぶための事前学習科目やプログラミングの集中講義も用意しています。



## 2 プログラム概要 ※各科目の内容については 8 ページをご覧ください。

### (1) 事前学習（6月～8月）

短期集中講義への参加に備えて、必要に応じて各自でソフトウェア開発の学修をしていただきます。本学修士課程在学学生以外の方は、AIIT 単位バンク制度（科目等履修生制度）に登録することで、開講されている講義を事前学習として受講することができます。本学の講義は原則として産業技術大学院大学品川シーサイドキャンパスで開講します。また、授業科目によっては、秋葉原サテライトキャンパスで開講する授業回もあります。

AIIT 単位バンク制度の詳細については、「14 AIIT 単位バンク登録制度について」をご確認ください。

## (2) 短期集中講義 (9月)

ビジネスアプリケーション開発に必要な知識を、短期間で集中的に学びます。

## (3) 分散PBL (10月～11月)

チーム単位での分散PBLにより、ビジネスアプリケーション開発の実践力を修得します。チームメンバーが品川シーサイドキャンパス、参加校などに分散している場合は、遠隔会議システムを利用して活動を行います。

会議の開催日や時間は平日夜間や土曜日を中心に各PBLチームで調整し、期間内に30コマ分の共同作業(週3コマ程度)と30コマ分の個人作業を行いながらプロジェクトを達成することを想定しています。

## (4) 成果発表会 (2月中旬～下旬)

PBL活動の発表会を開催します。この発表会の内容だけでなく、各個人の活動の内容、質などを総合的に判断し、個人の修了を判定します。

## 3 参加条件

### 【事前学習及び短期集中講義】

以下の項目のいずれかに該当する方が対象です。

- ① 情報系の大学院に在籍している
- ② 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している
- ③ 情報システムの開発に関する実務経験を有する

※ 申し込み時に、上記参加条件に関する証明書類等を提出していただきます。詳しくは「9 出願書類等」をご覧ください。

### 【分散 PBL】

短期集中講義終了後に、分散 PBL を履修できるかどうかの判定を行います。分散 PBL の履修のためには、以下の条件を全て満たしている必要があります。分散 PBL を修得しなければ enPiT プログラムは修了できません。enPiT プログラムの修了要件については「4 修了要件」をご覧ください。

※ 分散 PBL の履修条件：「コラボレイティブ開発特論」(短期集中講義科目)及び「アジャイル開発手法特論」(短期集中講義科目)を修得していること。

## 4 修了要件

以下の条件を全て満たしていることを、enPiT プログラムの修了要件とします。プログラム修了者には、修了証を交付します。各科目の詳細は、8 ページのとおりです。

- ① 「コラボレイティブ開発特論」(短期集中講義科目)及び「アジャイル開発手法特論」(短期集中講義科目)を修得していること。
- ② 「ビジネスアプリケーション特別演習」(分散 PBL 科目)を修得していること。

## 5 修了後のイメージ

このプログラムで学ぶことで、先端的な情報技術に関する知識、世の中のニーズを捉える能力、実践的な問題を解決する能力が養えます。このプログラムでの学習を踏まえて、さらに講義、実習、研究活動を通して、知識や能力に磨きを掛けることで、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材を目指せます。

## 6 募集人数

20名程度

## 7 受講料

無料

※ ただし、「AIIT 単位バンク登録制度」により、事前学修において講義の履修を希望される方は、既定の授業料をお支払いいただきます。詳細は、下記「14 AIIT 単位バンク登録制度について」をご覧ください。

## 8 出願期間及び出願方法

### (1) 願書受付締切

平成 28 年 5 月 23 日（月）17 時（必着）（郵送または窓口持参）

### 【送付先】

〒140-0011

東京都品川区東大井 1-10-40

産業技術大学院大学 enPiT 事務局あて

**郵送する場合は、必ず書留にしてください。**

### (2) 出願書類受理のお知らせ

受理した書類を点検・確認後、願書にてご指定いただいたメールアドレスあてに、受理のお知らせを送付します。5 月 23 日（月）18 時までにメールが届かない場合は、産業技術大学院大学 enPiT 事務局までご連絡ください。（電話 03-3472-7833）

## 9 出願書類等

志願者は、次の書類を一括して提出してください。

### (1) enPiT プログラム受講願書

### (2) 参加条件を証明する書類等（下記のいずれか）

参加条件① 情報系の大学院に在籍している

→ こちらに該当する方は、在籍を証明できる書類(学生証等)の写しをご提出ください。

参加条件② 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している

→ こちらに該当する方は、上記基礎教育の習得状況を証明する書類（出身大学の卒業証明書および

成績証明書もしくはこれらに準ずる書類)をご提出ください。

参加条件③ 情報システムに関する実務経験を有する

→ こちらに該当する方は、職務経歴、職務実績等を詳細に示す書類と、原則として、上司の推薦書をご提出ください。上司の推薦書を提出できない場合は、その理由を記した書類を提出してください。(様式は問いません)

## 10 出願上の注意事項

- (1) 受理した書類は返還しません。
- (2) 申請書類に不備がある場合は、受付期間内に補正がなければ不受理となります。また、出願期間を過ぎた出願書類は受理しません。
- (3) AIIT 単位バンク登録制度については、別途申込が必要です。ご注意ください。

## 11 選考方法

受講可否の選考は、書類審査により行います。応募人数が募集人数を上回った場合、あるいは本プログラム履修に必要な前提条件を満たさないと判断される場合は受講を認められないことがあります。なお、審査にあたり、事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。

## 12 選考結果の通知

選考結果について、平成 28 年 5 月 27 日 (金) に、願書にてご指定いただいたメールアドレスへご連絡します。@aiit.ac.jp からのメールを受信できるよう、受信許可設定をお願いいたします。(選考結果通知に限らず、受講期間中、修了後の各種ご連絡もこちらのドメインからメールをお送りします。) その日のうちに通知が届かない場合は、産業技術大学院大学 enPiT 事務局 (電話 : 03-3472-7833) へご連絡ください。

受講を許可された方へは、上記通知時に、受講に関するご案内を併せて送付します。

## 13 (本学修士課程在学の方へ) 単位の授与について

enPiT プログラムの授業科目は、履修登録をすることで単位の授与の対象となります。単位数等の詳細については、9 ページのとおりです。

## 14 (本学修士課程在学以外の方で、AIIT 単位バンクに登録していない方へ) AIIT 単位バンク登録制度について

AIIT 単位バンク制度とは、AIIT 単位バンク登録生(科目等履修生)として修得した単位を蓄積し、修士課程の学生として入学した際に活用する制度です。AIIT 単位バンクに蓄積した単位は、本学修士課程の学生として入学後に申請すると、入学前 5 年間分が既修得単位として認定され、その単位数に応じた授業料が減免されます。(ただし、減免額は年間授業料を上限とします)。AIIT 単位バンク制度と修士学生としての学修を組み合わせることにより、事実上、7 年間に及ぶ長期間の履修が可能となります(長期履修制度と併せると最大 8 年間)。

「事前学習」では、必要に応じて各自でソフトウェア開発等に関する学修をしていただきますが、そ

の際、本学の専門職学位課程で開講している科目を活用し学修したい場合には、事前に「AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）」の登録をすることにより履修・単位修得が可能です。

詳しくは、以下までお問い合わせください。

出願期間・募集要項配布期間 3月下旬～5月21日（土） <事前審査締切 5月9日（月）>

<AIIT 単位バンク制度（科目等履修生制度）に関する問い合わせ先>

産業技術大学院大学管理課教務学生入試係

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40

電話：03-3472-7834 FAX：03-3472-2790 Mail：info@aiit.ac.jp

## 15 開講中止となった場合の取扱い

### (1) 通知方法

申込者数により、開講しない場合には郵送により通知します。

### (2) 提出書類について

ご提出いただきました書類については、こちらで厳重に処分します。ご了承ください。

<enPiT プログラムの問い合わせ先>

産業技術大学院大学 enPiT 事務局

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40

電話：03-3472-7833 FAX：03-3472-2790

Mail：opi@aiit.ac.jp

# 職務経歴書（例）

平成〇〇年〇〇月〇〇日現在

氏名：〇〇 〇〇 印

## ■職務経歴

〇年〇月 〇〇〇〇株式会社入社  
〇〇〇〇部に配属  
〇年〇月 〇〇〇〇部に配属  
現在に至る

## ■業務内容

〇〇〇〇株式会社

期間	内容	役割

## ■取得資格等

〇年〇月 〇〇〇〇スペシャリスト  
〇年〇月 〇〇〇〇技術者

## ■得意分野／スキル

- ・〇〇〇の設計
- ・〇〇〇業務知識
- ・〇〇〇〇〇

## <詳細：4 修了要件>

enPiT プログラムの必修科目の内容は以下のとおりです。詳細はシラバスをご覧ください。

### コラボレイティブ開発特論 (短期集中講義科目)

ビジネスアプリケーションを構築するための基礎力としてのプログラミング力を身につけます。  
分散型 PBL を実施する上で必要となる知識やツールの使い方を基礎から学びます。

実施時期： 9月17日・18日・19日・22日・24日 3限～5限 13:00～18:00 (15コマ)

### アジャイル開発手法特論 (短期集中講義科目)

講義及びグループワーク形式で、アジャイルソフトウェア開発手法の一つであるスクラムを中心に、アジリティの高いソフトウェア開発を行うためのモダンなチーム開発についての基礎知識を習得し、アジャイルなプロダクト開発の立ち上げについて体得します。

実施時期

① 講義 9月26日～29日 6～7限 18:30～21:40 (8コマ)

② ミニPBL 9月30日 6～7限 18:30～21:40 (2コマ)

10月1日 1～5限 9:00～18:00 (5コマ)

### ビジネスアプリケーション特別演習 (分散PBL科目)

コース別、チーム単位での分散PBLにより、ビジネスアプリケーション開発の実践力を修得します。  
チームメンバーが品川シーサイドキャンパス、秋葉原サテライトキャンパス、参加校などに分散している場合は、遠隔会議システムを利用して活動を行います。

会議の開催日や時間は夜間や土曜日を中心に各PBLチームで調整し、期間内に30コマ分の共同作業(週3コマ程度)と30コマ分の個人作業を行いながらプロジェクトを達成することを想定しています。  
修了後にPBLの活動の発表会を開催します。

実施時期： 10月～11月



### <詳細：13（本学修士課程の方へ）単位の授与について>

本学の産業技術研究科の情報アーキテクチャ専攻又は創造技術専攻の学生は、以下のとおり単位修得及び修了要件となります。

授業科目名	単位数	情報アーキテクチャ専攻			創造技術専攻		
		履修	単位修得	単位修得（修士課程修了要件）	履修	単位修得	単位修得（修士課程修了要件）
コラボレイティブ開発特論	15コマ / 2単位	○	○	×	○	○	×
アジャイル開発手法特論	15コマ / 2単位	○	○	○	○	○	×
ビジネスアプリケーション特別演習	30コマ / 2単位	○	○	○	○	○	○

※enPiTプログラム用の集中科目については、事務局で一括して履修登録を行います。

履修登録単位数の上限は以下のとおりです。

期間	前期（1Q～2Q）	夏季休業期間	後期（3Q～4Q）	春季休業期間
上限	22単位	8単位	22単位	8単位

なお、コラボレイティブ開発特論及びアジャイル開発手法特論は夏季休業期間の8単位、ビジネスアプリケーション特別演習は後期の22単位に含まれます。

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1			1	2	3	4	5
				← 夏季休業～10/1									♪							★
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
													★							★
							← 3Q													
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
						●							★							★
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
●	●			●		●							★							★
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
		♪	♪	♪	♪								★							
							30	31												

註) ●：コラボレイティブ開発特論

♪：アジャイル開発手法特論

★：ビジネスアプリケーション特別演習